

彩られた空間: 新しい情報の景色

公立はこだて未来大学大学院 システム情報科学研究科
坂本大介

- センサ情報を変換した絵の表現として空間自体をも変化させてしまう。
 - 空間内の情報をセンサで取得する
 - これを絵に変換する
 - 変換した絵が空間内のデバイスの操作を行う
 - 入力されるセンサ情報が変化する
- これを容易に実現するための環境を開発した



activeCanvas: 対話可能なキャンバス

- Macromedia Flashとセンサネットワークを連結し、Flash上でセンサ情報を手軽に扱うことができるソフトウェア
- 絵をswfファイルのプラグインとして管理する
- ActionScript言語によるactiveCanvasAPIを用いることでセンサ情報を使った絵を簡単に書くことができる
- Flashを用いているため、センサ情報を変換した絵を容易にインタラクティブにすることが可能

